

# 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議通信

発行：令和4年3月1日 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

第3号



この通信は、地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の内容について地域の皆様に  
ご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

## 地域まちづくりビジョン

### フォローアップ会議の目的

坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議は、坂ノ市地域が目指す将来像の実現に向けて、市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため市長に提言された「坂ノ市地域まちづくりビジョン」に掲げる事業について、「行政に望むこと」「地域でできること」「私たちができること」のそれぞれのテーマにおいて、取組状況の報告並びに意見交換等を行いながら、課題を整理し、取り組みの推進方法を検討するものです。

<坂ノ市地域の将来像>

**住んでよし 来てもよし**

**自慢だらけの坂ノ市**

## 令和3年度 坂ノ市地域まちづくりビジョンフォローアップ会議

- ◆令和3年11月25日(木)14:00～
- ◆坂ノ市市民センター 大会議室

### ≪議事≫

- (1) 会議の公開について
- (2) 地域まちづくりビジョンについて
- (3) 地域まちづくりビジョンフォローアップ会議について
- (4) 地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について  
(事例発表)  
丹生地区まちづくり協議会  
小佐井校区まちづくり協議会
- (5) 今後の予定について



## ◆地域まちづくりビジョンに掲げる事業の取組状況◆

会議では、事務局から坂ノ市地域まちづくりビジョンに掲げる全事業の取組状況を報告し、これをもとに意見交換を行いました。本通信では、事業の取組状況や、意見交換等の中から主なものを抜粋して掲載しています。

### 【提言1】人がつながるコミュニティの創造

#### 事業名：3世代が交流できる事業

丹生地区では地域づくりの行事が盛んだが、高齢者が中心で進めているので、若者や子どもにもっと地域に積極的に関わってもらいたい。

#### 【取組状況】

地域・・・盆踊り大会や健康ウォーク、ふれあいフェスタなどを実施している。  
令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となった行事が多い。



坂ノ市地区花づくり事業

- ①坂ノ市校区などでは、納涼盆踊り大会が2年連続で中止。盆踊り大会参加者の高齢化や減少対策が必要。
- ②小佐井校区では、『尾田川ほたるの里づくり事業』や『いもほりウォーク』を実施。
- ③丹生校区では、納涼夏祭りは花火の打上げなどを実施。ふるさと祭りのDVDによる発表など。

行政・・・地域づくり交付金の交付申請に関する支援やまちづくり協議会の運営サポートを行っている。



小佐井校区いもほりウォーク

#### 事業名：住民と市議会、行政とのコミュニケーションの場づくり

住民と市議会、行政が定期的にコミュニケーションをとる場を作り、予算面などを含め、お互いに納得できるよう話し合いを行う。

#### 【取組状況】

- 地域・・・会議や委員会等には、組織や団体の代表が参画している。  
住民に対して、回覧や掲示板等によりふれあい市長室や市民意見交換会の参加を促している。
- 行政・・・地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を開催し、地域課題の整理、情報共有を図っている。  
市議会主催の「市民意見交換会」については、令和2年度、3年度は中止。

#### 事業名：子どもの生きる力を養う事業

地域の公民館などで泊まり込み合宿を行い、集団での生活や学習の機会をつくる。

#### 【取組状況】

- 地域・・・丹生小学校では、PTAが主催となり夏休み期間中に6年生とその保護者がドッジボールや花火などを実施した。
- 行政・・・13地区公民館が行っている「体験学習すこやか講座」で通学合宿をしている地区があり、各地区公民館の取組について情報共有を行っている。



江川会長

#### 事業名：子どもへの福祉事業

夜一人で家にいないといけいない子どもなどを預けられる場所や、子ども食堂のようなものが必要。



#### 【取組状況】

行政・・・子どもや親、学生等の多世代交流を目的とする活動補助を行っている。  
子ども食堂の開設・機能強化・運営に対する補助や、令和3年度は、感染防止対策を講じて活動を継続しようとする子ども食堂に対する経費の補助を行っている。

### 【提言2】安全・安心なまちづくり

#### 事業名：子どもや高齢者の安全を確保する道路や交通網の整備促進 (通学路の整備、改善・自転車道整備事業・公共交通網の充実)

小佐井小学校周辺の道路は朝夕交通量が多く歩道も狭いため、危険。  
ふれあい交通等の交通網の充実。

#### 【取組状況】

- 地域・・・交通指導員やPTA等が通学時の見守り活動を行っている。  
各老人クラブの会員等が見回りを実施し、危険箇所を発見した場合は支所に連絡している。  
小学校PTAや青少年健全育成協議会員が校区内の交差点や危険箇所にストップマークを表示し安全確保に努めている。



小佐井小学校通学路



ふれあい交通事業

行政・・・各幼稚園、小学校、中学校の通学・通園路に関する整備及び改善に関する要望を受け、関係機関と連携し、対応を検討している。  
県道坂ノ市中戸次線の歩道整備は、市と大分県が協議し、大分県と合同で事業説明を行っている。  
子どもの安全見守りボランティア等の協力を頂き、登下校の安全確保に努めている。  
都市計画道路里屋山線の未整備区間については、安全安心な走行空間の確保の観点から歩道整備に関する要望を道路管理者の大分県に行っている。  
ふれあい交通の運行により住民の日常生活の移動手段を確保する取り組みを行っている。  
(坂ノ市地区の登録者数等 7ルート、269人：令和3年10月1日現在)

裏面につづく

### 事業名：小佐井小学校及び周辺整備事業

小佐井小学校は老朽化していて危険。周辺通学路も整備する必要がある。

#### 【取組状況】

地域・・・小佐井校区独自の「まちづくりビジョン会議」を設置し、協議を重ねている。  
行政・・・通学路の側溝改修や日吉神社付近の交差点外7箇所の車両防護柵の設置を行った。  
また、耐震・外壁改修などの大規模改修工事により老朽化対策を行っている。



通学風景

## 【提言3】 地域資源の活用

### 事業名：坂ノ市の歴史資源を活かすネットワークづくりとイベントの実施

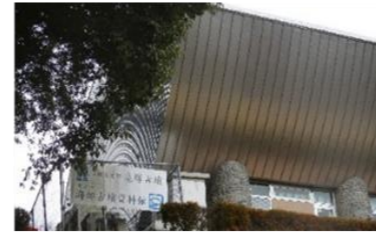
各校区の歴史を調査し、意見交換や地域の史跡を歩いて回るイベントを実施する。



亀塚古墳

#### 【取組状況】

地域・・・「坂ノ市地区郷土史愛好会」や「丹生郷土史愛好会」を結成し、地域の史跡を巡る健康ウォーキングなどを実施している。  
行政・・・地域の歴史・文化継承のため、興味のある方へ勉強会や歴史愛好会などを紹介し、人材育成を図っている。



海部古墳資料館

## 【提言1】【提言3】

### 事業名：地域の拠り所となる丹生温泉の活用促進

#### (丹生温泉を核とした高齢者と若者が集う広場、館を造る・大分市「いこいの家」を造りたい)



丹生温泉

丹生温泉に、3世代が交流できる施設や広場を整備する。  
丹生温泉を活用して大分市民の「いこいの家」を造る。  
アスリートを養成するアスリートセンターの建設。

#### 【取組状況】

地域・・・丹生校区ビジョン推進プロジェクトチームを設置し、会議で校区内の住民に構想を知ってもらう活動をしている。



行政・・・現行の指定管理者制度のもと、地域や多世代交流を目的とした優待イベントの実施や地域の祭りとの連携による事業強化、施設の長寿命化等を実施している。(令和2年度は中止)  
交流施設や広場の整備については、地域バランスも考慮しながら、長期的な視点で検討する必要がある。  
アスリートセンターの設置については、各種競技団体の意見を踏まえ、設置の必要性や可否を十分に検討する必要がある。

## 【提言1】【提言2】【提言3】

### 事業名：地域交流のできる総合的な施設の充実

#### (地域交流のできる総合的な施設の充実・企業と連携したコミュニティセンターの設置・坂ノ市公民館の改修)

図書館は公民館、こどもルームは市民センターなどと施設が分散しているため、総合的な施設の充実を目指す。  
地域の企業に福利厚生施設(プール等)の開放依頼を行う。  
老朽化した公民館をコミュニティーセンターや児童館などの役割をもたせられるように改修する。

#### 【取組状況】

地域・・・TOTOアクアテクノ(株)が所有しているグラウンドについては、坂ノ市地区在住の人であれば利用可能。(営利目的は使用不可)  
行政・・・「大分コンビナート企業協議会」など施設を保有する15の企業への調査を行った。調査の結果、セキュリティの関係から広く市民への開放は難しいが、地元住民限定で利用可能な場合は、地元に対し、その情報を提供した。全ての公共施設について、長寿命化を推進している。  
大規模改修の際には、必要に応じて、周辺の公共施設の機能の集約、複合化を検討する。  
令和2年度に地区公民館集会室の音響設備の改修等を行った。



坂ノ市公民館

## 事例発表《丹生地区まちづくり協議会》

「丹生地区まちづくり協議会」は、平成25年4月に「絆を育む」を理念として、丹生地区の地域活性化を図るため設立。



丹生昼休みバンド

#### 【主な活動】

- 親子ボウリング大会(2月、8月)
- 丹生公民館主催の丹生校区納涼夏祭り(8月)
- 球技大会又はソフトボール大会(隔年9月)
- 老人ゲートボール大会(10月)
- 史跡巡り健康ウォーキング(11月)
- ふるさと祭り(地産地消など11月)

#### 【コロナ禍での活動】

盆踊り大会に代わる花火大会の実施、丹生校区百景カレンダーの製作。  
「ふるさと祭り」のDVDによる発表。丹生昼休みバンドの結成(歌謡曲やジャズなどを練習し、コロナ終息後の丹生校区の行事に出演できるように準備)

#### 【主な意見】

- ・親が積極的に参加できるような行事で、子どもを伴っていけるような行事があればよい。
- ・子どもから大人まで楽しくできる行事を計画するのがよい。



秦野丹生自治会連合会会長

## 事例発表《小佐井校区まちづくり協議会》

「小佐井校区まちづくり協議会」は、平成27年4月に「小佐井は一つ、つながる人と人」を理念として、地域課題を自主的に解決し、地域の個性を活かしたまちづくりを自律的に行うため設立。

#### 【主な活動】

- 「花いっぱい事業」や「盆踊り普及事業」を環境ボランティアや踊り指導者等で実施。
- 「見守り事業」や「交通安全事業」、「防災事業」を青少年補導員や防災士などで実施。
- 「スカットボール大会」や「ファミリー健康ウォーク」、「オセロ大会」、「歌声喫茶」を民生委員や健康推進委員などで実施。コロナ禍でいろいろな行事が中止となったが、感染対策をしっかりとり「いもほりウォーク」を実施し、大変喜ばれた。
- 令和3年度から、新規事業として、地元自治会とまちづくり協議会が連携して「尾田川ほたるの里づくり事業」を実施。鑑賞会期間中(5月10日～6月10日)、1万匹を超えるほたるが出現し、来観者は1,000人を超える大成功であった。



藤澤小佐井自治会連合会会長



尾田川ほたるの里づくり事業

#### 【主な意見】

- ・尾田地区に住んでいるが、ほたるの取り組みはありがたい。
- ・盆踊りは、踊れないと参加できない。自治会によっては、盆踊り大会の前に練習を行っており、お母さんたちや子どもたちも一緒に参加するので盛り上がる。
- ・新しく地域に住むようになった方が参加できるようなイベントや催し物があれば交流になっていいのではないかな。

## その他の意見

- ・親が子どもを伴って楽しく参加できるような行事があればよいと思う。
- ・各公民館に地域の特徴を反映したスタンプを設置し、親子でスタンプラリーが行えるような企画を行ってはどうか。
- ・住みよい地域をつくるための勉強会やお茶会を始めた。

## ふれあい市長室の実施



丹生地区まちづくり協議会の皆様

### 「ふれあい市長室～あなたの地域のまちづくりビジョン～」

令和2年度及び3年度は、地域まちづくりビジョンに関連した活動を行う団体を対象に開催しました。

開催日：令和3年3月2日(火)  
対象団体：丹生地区まちづくり協議会  
丹生地域の活性化を図るため、「ふるさと祭り」や「史跡巡り健康ウォーキング」などの取組を行っています。



小佐井校区まちづくり協議会の皆様

開催日：令和3年11月15日(月)  
対象団体：小佐井校区まちづくり協議会  
小佐井地域のまちづくりを進めていくため、「花いっぱい事業」や「尾田川ほたるの里づくり事業」などの取組を行っています。